

たねニュース

令和3年(2021年)11月1日発行(隔月1回1日発行)

- 2022年 北海道向け飼料用トウモロコシ自社品種のご紹介
- 寒さを乗り切る子牛管理
- 雪印種苗(株)苫小牧工場の歴史
- 雪印メグミルクのお料理レシピ
- 「2021年度 酪農学園大学・雪印種苗株式会社共催酪農セミナー」オンライン開催

2021年を振り返り

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より弊社事業につきましましては、特段のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2021年は、延期されていた2020東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ほぼ無観客での開催となり、チケットを購入されていた方々にとっては非常に残念なことであったとは思いますが、アスリートたちの活躍により「感動」と「記憶に残った」大会であったと感じております。

さて、今年の北海道の天候は、季節を通して好天が続いたものの高温・早魃傾向が続きました。牧草の生育～収穫に関しては、全体的には良質の飼料を収穫できたものの、その収穫量は地域や圃場条件によっては例年よりも少ない傾向とお聞きしておりますし、牧草の再生やデントコーンの生育、農産物にも少なからず影響があり、今年も天候に苦勞した年となりました。一方、海外においては、中国の回復による穀物需要拡大、物流混乱による船運賃の上昇、農産物生産国における気象変動の影響が重なって、配合飼料原料・輸入乾牧草等の価格上昇が継続しました。

様々な自然災害などの不測の事態に対しては、その状況を的確に捉え慎重に対応していく事が肝要と

なります。国内においても、SDGsや環境を重視する動きが加速していくと見込まれる中、農林水産省は持続可能な食料システムを構築することを急務とし、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」が策定されました。今後具体的な取組みが示されてまいります。弊社といたしましても、持続可能な農業に向けて、生産現場に密着した製品・商品と技術のご提案で、地域や業界の活性化に貢献して参りたいと考えております。

本誌「雪たねニュース」は、皆様のお役に立てる技術情報、製品・商品のご紹介、タイムリーなニュースなどの情報を掲載しておりますが、弊社ホームページや技術情報誌「牧草と園芸」、その他様々な媒体を通じて多くの情報発信が出来るよう、今後も努力して参りたいと考えておりますので、引き続きご愛顧いただけますようお願い申し上げます。

ワクチン接種の接種率も高くなってきておりますが、まだまだ予断を許さない状況であり、感染防止対策を生活の一部とした行動を継続いただき、2022年の新春をご家族ともども迎えられる事を心からご祈願申し上げます。

雪印種苗株式会社
事業本部 菊地 健司